

本年四月より學術談話會の規則に改正がありました、改正の要旨は従來同會は學校が主動者となりての事業でありましたが、今度は生徒が主動者となりました事であります、新しき規程は左の如くでありますから御覽を願ひます、そして従來技藝科學術談話會の會員で居られました方々は直ちに今度の學術談話會技藝科部の會員におなりなされたわけになりましたから左様御承知を願ひます、又卒業生の會員は皆贊助員とられましたのでありますから之れ亦御承知を願ひます。

東京女子高等師範學校學術談話會規程

- 第一條 本會ハ本校生徒ガ平素學修スル事項ヲ互ニ談話シ知徳ノ増進ニ資スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ヲ文科理科技藝科ノ三部ニ分ツ
- 第三條 本會ハ本校生徒ヲ以テ組織ス生徒ハ其學修スル分科ニ從ヒテ第二條ノ三部ノ一ニ屬スル

モノトス

- 第四條 本校卒業生ハ本會ノ贊助員タルコトヲ得
- 第五條 本會ハ本校教官ヲ請フテ客員トナス
- 第六條 本會ニ會長ヲ置ク會長ニハ校長ヲ推戴ス
- 第七條 本會ノ各部ニ部長一名ヲ置ク部長ハ客員中ニ就キ會長之ヲ囑託ス
- 第八條 本會各部ニ幹事ヲ置ク幹事ハ各部所屬ノ會員ヨリ各級若干名ヲ互選ス
- 第九條 部長ハ談話ノ事項方法等ヲ監督指導スルモノトス
- 第十條 幹事ハ部長ノ指揮ヲ受ケテ各部ノ事務ヲ取扱フモノトス
- 第十一條 部長及幹事ノ任期ハ各一箇年トス
- 第十二條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク
- 第十三條 本會各部ハ各部ニ於テ行ヘル談話研究等ノ報告ヲ印別シテ配布スルコトアルベシ
- 第十四條 本會各部ノ内規ハ會長ノ承認ヲ經テ會員之ヲ定ム
- 第十五條 第六臨時教員養成所生徒及ヒ卒業生ハ本校生徒及ヒ卒業生ニ準ス
- 第十六條 本規程ハ會長ノ承認ヲ經ルニアラサレバ變更スルコトヲ得ス

東京女子高等師範學校學術談話會技藝科部內規

第一條 本部ハ學術談話會規程第一條ノ主旨ニヨリ技藝科生徒ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條 文理科及第六臨時教員養成所生徒ニシテ本部ニ入ラント欲スル者ハ其旨幹事ニ申出ヅ

第三條 本部ハ每學期一回部會ヲ開クヲ例トス

第四條 部會開會ノ日時及次第ハ東京及近縣ノ賛助員及客員ニハ每會之ヲ通知ス

第五條 部會ノ講演者ハ會員賛助員及客員中ニ就キ豫メ定メ置クモノトス

但シ臨時ニ講演セントスル者アルトキ若シクハ他ヨリ講演者ヲ招聘セントスルトキハ部長ノ

承諾ヲ經ベシ

第六條 本部ハ凡ソ每學期一回會誌ヲ發行シ學術談話會規程第十三條ノ報告ヲナス

第七條 本部ニ左ノ役員ヲ置ク其任期ハ各一箇年トシ毎年四月之ヲ定ム

評議員 若干名

編輯掛 三名(四年生二名三年生一名)

會計掛 四名(各學年ヨリ一名ツ、)

庶務掛 四名(同上)

評議員ハ客員中ニ就キ本部之ヲ依頼ス

掛ハ幹事之ヲ分擔ス

部長ハ客員又ハ賛助員ニ其事務ノ一部ヲ依囑スルコトヲ得

第八條 評議員ハ本部ノ事務ヲ商議ス

第九條 編輯掛ハ左ノ事務ヲ行フ

一、會誌原稿ノ蒐集

二、會誌ノ編輯

第十條 會計掛ハ左ノ事務ヲ行フ

一、金錢及物品ノ保管及出納

二、會計帳簿ノ整理

三、毎年三月末日ニ於テ前一箇年金錢出納ノ明細書ヲ製シ之ヲ報告スルコト

第十一條 庶務掛ハ左ノ事務ヲ行フ

一、通信 記錄

二、會場ノ選定及整理

三、講演者ヲ定ムルコト

四、會誌ノ發送

第十二條 本部會費ハ當分會員ハ實費ヲ助賛員ハ年額六十錢ヲ毎年四月ニ於テ納ムルモノトス
 第十三條 本部ニ受領セル會費ハ本部發行ノ會誌上ニ於テ之ヲ報告ス
 第十四條 會費ノ未納二箇年ニ及フ者ハ會誌ノ發送ヲ見合スコトアルベシ
 第十五條 退會セント欲スル者ハ其旨幹事ニ申出ツベシ

以上

新しき學術談話會技藝科部の評議員と客員とは左の如くであります

●評議員

黒田 教 授 殿 喜多見生徒監殿 荒木 教 授 殿 今村 教 授 殿
 宮川 教 授 殿 神田 教 授 殿 近藤 教 授 殿

●客員

篠田 教 授 殿 黒田 教 授 殿 下田 教 授 殿 佐方 教 授 殿
 吉田 教 授 殿 後閑 教 授 殿 喜多見 教 授 殿 永井 教 授 殿
 荒木 教 授 殿 安井 教 授 殿 今村 教 授 殿 藤井 教 授 殿
 宮川 教 授 殿 近藤 教 授 殿 西島 教 授 殿 林 教 授 殿
 垣内 教 授 殿 神田 教 授 殿 岡田(秀) 教 授 殿 下田 教 授 殿
 波佐谷 教 諭 殿 春田 講 師 殿 内海 講 師 殿 澤村 講 師 殿
 中村 助 教 授 殿 安川 助 教 授 殿 津田 助 教 授 殿 須磨 助 教 授 殿

本年度に於て本會の事務に直接關係する役員は次の如くに定りました

會長 中川 校長
 部長 近藤 教 授
 幹事(編輯) 小林 ちる 上田 きそ 平田 愛
 幹事(會計) 今村 みつ 藤田 しう 庄 司 榮
 田 中 なつ 下田 すみ
 幹事(庶務) 笠井 靜江 黒田 きみ 田 淵 てる 三宅 しづ
 太田 まさ

中村 助 教 授 殿 岩上 助 教 諭 殿 田村 助 教 諭 殿 藤 助 教 授 殿
 上野 訓 導 殿 根 來 訓 導 殿 森 木 囑 託 殿 青 木 囑 託 殿
 上村 囑 託 殿 三 上 囑 託 殿

本年四月卒業の賛助員の姓名

大阪府富田林女子技藝學校 磯野 つね
 佐賀縣郡立鹿島高等女學校 半野 ミネ
 北海道廳立上川高等女學校 大塚 タカ
 石川縣鹿島郡立實科高等女學校 大橋 タカ
 兵庫縣揖保郡立實科高等女學校 若林 ひで
 群馬縣山田郡立桐生高等女學校 若林 ひさ

沖繩縣師範學校
 埼玉縣立熊谷高等女學校
 宮城縣石卷實科高等女學校
 高知縣幡多郡立實科高等女學校
 香川縣三豐郡立高等女學校
 栃木縣郡立足利高等女學校
 青森縣立弘前高等女學校
 廣島縣立吳市高等女學校
 福岡縣福岡師範學校
 熊本縣菊地實科高等女學校
 鹿兒島縣加治木實科高等女學校
 愛知縣市立豐橋高等女學校
 靜岡縣磐田郡立高等女學校
 千葉縣女子師範學校
 愛媛縣女子師範學校
 滋賀愛知郡立實業學校
 山口縣都濃郡立高等女學校

群馬縣立前橋高等女學校

小曾戸ハル
 和田ハル
 渡邊みつ
 加賀美ハル
 吉岡マサ
 吉田ケン
 鷹島つね
 丹澤さだ
 檜崎イヅ
 牛島シヅ
 能仁フサ
 押本フサ
 桑原イヅ
 山崎初枝
 松浦八重
 杉江さち
 鈴木トミ
 飯沼田鶴代

關東州族順高等女學校
 愛媛縣八幡濱女學校
 大阪府立梅田高等女學校
 東京府立第三高等女學校
 大阪府立清水谷高等女學校
 神奈川縣市立橫須賀高等女學校
 朝鮮京城居留民團立高等女學校
 大阪府河北高等女學校
 兵庫縣多紀郡立高等女學校
 大阪府立江戸堀高等女學校
 茨城縣立土浦高等女學校
 福井縣立福井高等女學校
 奈良縣立櫻井高等女學校
 愛知縣新城實科高等女學校
 石川縣能美郡立實科高等女學校
 東京市私立神田高等女學校
 佐賀縣立佐賀高等女學校
 沖繩縣立高等女學校
 廣島縣町立福山高等女學校

石龜とり
 萩森フジ
 西尾敏子
 岡村嘉子
 大森とよ
 大竹龜の
 大野リツ
 加世ミネ
 田島秀
 内藤鶴龜
 中村あい
 上見さく
 井澤さよ
 矢野煤代
 丸山ちよ
 藤原タカ
 藤吉カ
 藤田シ
 小林多
 小森多

東京市私立佛英和高等女學校
 福島縣立磐城高等女學校
 熊本縣立高等女學校
 廣島縣立廣島高等女學校
 山梨縣師範學校
 新潟縣佐渡郡佐渡實科高等女學校
 石川縣私立北經高等女學校
 青森縣立實科高等女學校
 三重縣女子師範學校

廣島縣市立尾道高等女學校
 岡山縣郡立井原高等女學校
 富山縣立高岡高等女學校
 岩手縣西磐井郡立實科高等女學校
 岩手縣立盛岡高等女學校
 大分縣女子師範學校
 神奈川縣市立横須賀高等女學校
 山形縣女子師範學校
 和歌山縣西牟婁郡立高等女學校

雨宮美津
 齋藤ミツ
 佐藤トミ
 三上シゲ
 宮本イロ
 宮城カキ
 志保ナカ
 志保ナカ
 庄司リョウ
 杉浦セツ
 新帯かめく
 戸田サク
 土肥サク
 渡邊のぶ
 高橋マユ
 田淵マユ
 中野イト
 仲野イト
 上野スマ

大分縣直入郡立實科高等女學校
 長崎縣高來郡立實科高等女學校
 東京府女子師範學校
 茨木縣女子師範學校
 島根縣女子師範學校
 岐阜縣立高等女學校
 香川縣立丸龜高等女學校
 官城縣白石實科高等女學校
 長野縣立松本高等女學校
 栃木縣女子師範學校
 新潟縣立柏崎高等女學校
 山口縣立德基高等女學校
 新潟縣立新潟高等女學校
 石川縣立珠州郡立實科高等女學校
 北海道廳立札幌高等女學校
 群馬縣北甘樂郡立實科高等女學校
 長野縣大町實科高等女學校

本年四月入會せられました方々の姓名

●技藝科一部一年

野口千枝
 黒住賤子
 栗本しづ子
 熊田テイ
 保田富子
 前田はな
 松村きやう
 舟山キヨ
 小林静江
 小和田カツ
 近藤シヅ
 麻生カメヨ
 坂井タキ
 榊ふよ
 澤ふみ
 椎名文
 廣川イク

池内ヨシ 石川豊 春木さい 堀内ウサ
 横山エイ 田口フミ 濤崎キヌ 名取豊次
 南葉コン 武藤保 白田壽子 野上喜美子
 山ノ井ツイ 山口さん 松野初枝 福澤さかへ
 藤田イン 小村コスエ 遠藤ひさよ 安在徳野
 三宅静 水庫よしゑ 下田スミ 神保ムメ
 關はつ

●技藝科二年

西澤みゑ 大村峯 高島みさを 塚原茂村
 津村タケヲ 桑原カホル 齋藤操 笹原松代
 南タケヲ 水民年 望月つや 杉本ふみ

●第六臨時教員養成所家事科

飯野千萬 岩潤カメ 石原清恵 石澤文子
 市川松枝 一色保子 石川きみ 石坂しさを
 井上ヨネ 石川サカヘ 泰 順 岡田リッ
 鬼塚トミエ 竹内徳子 林 たか 岡田ミツ
 馬場トヨケサ 長谷部鷹 林 ゆか 西村なす
 堀江ウタコ 細川シメ 本田ハルエ 大橋ヤイ
 大門賀壽 大山カネ 大川豊江 太田政

小谷キミ 和田ゑい 渡邊さわ 渡邊カツ
 加藤けい 片岡香 河野キク 河野ノブ
 龜井千鶴子 由村タネ 田中かつ 田中いね
 武部ヤヨ 成田クニ 中村イツ 中西照
 中田富恵 上尾いしの 上原フク 植野キミヨ
 桑本ささ 山本照尾 船本みつ 藤巻ちを
 三輪きよの 御館たす 水谷由宇 真藤きぬ
 廣田龜代 久恒月與 菅原トシ

明治四十五年六月十五日 第二十一回の技藝科學術談話會を開きました、其概況は

開會の辭 近藤教授
 私共の覺悟 嘉悦孝子
 家事教室に就て 四年、松見きみ
 技藝教育に就て 内海講師
 校長様を始め諸先生方も多く見え、近縣在職の卒業生にして來會せらるゝものもあり、例年通り
 技藝科の新入生の外百名近くの第六臨時教員養成所家事科の方々の來會ありし爲め中々の盛會で
 ありました、

大正元年十一月二日 附屬高等女學校體操場に於て第二十二回の談話會を開きました、其概況は

